

教科書の精読を何して到達した境地

1年前には「エレガント」という言葉の意味が「わかりません」として。ただ「人前で」恥「お」かしい言葉は使いたくなかったので「エレガント」に英語を話せた方が「良い」だろうと思わ「ら」いでした。

でも1年勉強してみても思ったことや、レッスン日記等で「他の生徒さんの学習内容を共有させて頂いたことから、何となくわかりかけていることがあります。これは、気品や優雅さというものは、頑張りからくるものではないのか」と考えています。頑張りとは自分の中で「どうやって」いるだけなので「あ」、自分の一番努力していることや、命をはって真剣にやっていること。他の生徒さんから感じたことですが、どの方も命をはって真剣に英語へ取り組まれているのが、伝わってきます。学習された内容から、その方の品格をとっても感じています。努力があるからこそ、その努力が「品」となって表へでてくるし、他にも伝わるのだ」と思っています。

今の私に必要なのは、とにかくやることです。それも頑張り「て」やることだ」と思っています。一所懸命に勉強するということは、なかなか難しいです。自分の「L」との戦いである。あ「に」L「に」負けてしまいが、しかし「つ」勝てる自分になれるよう努力しているのだ、L「に」負けない強い自分になるうと頑張り「ま」す。この頑張り「が」、いつか自分の品となって言葉に「で」るようになること「が」、エレガントな英語を「言」えることだ」と思っています。

本当にちょっとしたことで「く」じけてしまいが、それでも「弱」い自分を「努」力し「つ」けられる自分に「変」えていきたいと思っています。頑張り「ま」す。